

2017年7月6日

市民政党「草の根

代表 井原勝



## 基地機能強化に関する公開質問状（再質問）

6月16日に、「北朝鮮問題に関する公開質問状」（5月29日付け）に対する回答を受けたが、北朝鮮情勢に対する危機感が欠如しておりその対応は到底納得できるものではない。また、住民説明会におけるサクラ質問問題についても、事実関係は依然として不明確である。仮に、行政も関与して説明会の不公平な運営が行われ、少なからぬ人の質問機会が失われたとすれば、到底許されることではない。

そこで、下記の通り、再度質問状を提出するので、速やかに回答されたい。

### 記

#### 1. 北朝鮮問題について

先日、初めての情報伝達訓練が実施されたが、これは、ミサイルが発射された際の瞬間的な対応に限定されるもので、これだけで市民の安全が確保されるわけではない。

実際に紛争が発生した場合を想定して、行政と市民、そして自衛隊や米軍とも連携した、市民の安全を守るための総合的な対応方針を早急に策定するとともに、近隣への小規模なシェルターの整備や一時的避難場所の確保、さらには広域的長期的な避難場所の選定・確保、そして、必要な訓練の実施など万全の対策をとるべきではないか。

#### 2. 住民説明会の運営について

あるブログ（別添参照）には、5月23日の住民説明会において、賛成派の質問者と司会者で事前打合せが行われたという趣旨の記載がある。

6月15日の重岡議員の一般質問に対する岩国市の答弁によれば、住民説明会の開会前に、質問予定者5～6人が控室まで出向き、司会者に面会したことが明らかになった。

また、ブログの記載者本人が実際に質問していること。その際の司会者の二度にわたる指名に会場がざわつく中で、「サクラ質問者ということが見え見えだ」と本人が冷や汗をかく様子が、率直に描写されている。

さらに、実際に、賛成の立場から質問した4人の質問内容は、子育てや地域経済、スポーツ施設、防音工事などであり、ブログに記載されている内容と一致する。

岩国市は、「市として、サクラ質問を依頼したことはない」とするが、それは当然のことで、ブログにもそのような記載はない。また、「事前打合せはしていない」と否定するが、ブログに記載されている内容はほとんど事実であることが明確になり、司会者と質問予定者の間で何らかの話し合いが行われたのではないかという疑惑がさらに深まった。

そこで、5月23日のシンフォニア岩国での住民説明会に限定し、次の点につき、事実関係を確認する。

- ① 質問予定者がいきなり控室まで行って司会者に面会することは、通常では考えられない。予め、誰かの紹介があったのか。当日も、間を取り持ち、質問者を紹介する仲介者がいたのではないか。また、その面会の際には、他の幹部職員も同席していたのか。
- ② 司会者が、控室で、質問予定者5～6人から「当てて欲しい」という依頼を直接受けたのか。
- ③ 質問予定者が司会者に面会して、単なる挨拶だけということは通常考えられない。当然、質問者の自己紹介や質問内容に関する説明があったと考えられるが、そうした事実があったのか。その間の所要時間はどの程度であったか。
- ④ 賛成の立場から実際に質問した5人の中に、司会者が事前に控室で会い依頼を受けた者は、何人いるのか。